

山行記録

ポンポン山（福寿草）

年月日	2023年2月27日
天気	晴れ
集合場所・時間	JR 芦屋駅 8時30分
参加人数	19名
歩行時間・距離	3時間40分、10km
費用	2170円（JR/阪急利用）

コースタイム

中畑バス停 10:30 着 体操 10:40 発～西尾根出合 11:20～11:55 福寿草保護地（昼食・観賞）
12:40～リョウブの丘 12:55～13:15 ポンポン山 13:20～13:45 釈迦岳 13:55～善峯寺分岐 14:05
～14:45 善峯寺バス停（トイレ） 14:50～15:20 小塩バス停 15:29～15:56 阪急東向日駅

感想

昨日の寒くてどんよりと曇った日から激変して風もなく穏やかな快晴の天気となり JR 高槻駅に集まったルベール一行は 19 名。福寿草目当てのハイカーで混雑することを予想してバスの出発 20 分前に到着したものの既に大勢のハイキング客が先に並んでおりぎゅうぎゅう詰めとなった状態でバスは定刻に出発。出灰で半分位のハイカーが降り出発から 1 時間ほどで大神宮社鳥居前の中畑バス停に到着。青空のもと、田畑が広がるのんびりした田園風景の中で体馴らしの体操をいつもの Y 先生の指導でたっぷりして今回のハイキングがスタート。

何年前の台風で多くの杉・檜が倒れ、がけ崩れも発生したようで、その修理のあとが生々しい山肌を見ながら林道を 20 分ほど歩き登山口に到着。ここからさっそく急登が始まり、両側に倒木がまだたくさん残っているジグザグの道を息を切らしながら登り約半時間で西尾根に出た。雲一つない青空で気持ちがいいが朝の空気はまだ冷たく所々霜柱も残っていた。

と武奈ヶ岳と比良山だとか。青空の下の雪山はとても美しく素晴らしい！

半時間で見晴らしの良い今日のメインである福寿草の群生地近くの広場に到着しランチタイム。食事を早々に終え、荷物を置いたまま案内ロープに従って群生地へ降りていくと小さな管理テントがあり、グループの名前・人数・住所を書いた用紙をスタッフに渡すと無料で入れてくれた。ゲートをくぐると約 50m 四方位のすり鉢状の山の斜面に黄色い小さな花が点々と見える。整備された階段の道に沿って青空の下、黄色というか金色というかたくさんの福寿草が咲いていて美しい！先週の神戸森林植物園ハイクで見たのは数が少なく蕾が多かったが今回は太陽がいっぱい当たる斜面なので満開状態。福寿草はスプリング・エフェメラル（春を告げる花）の代表で元日草（がんじつそう）とも呼ばれ江戸時代から多数の園芸品種が育てられたらしい。訪問者も多くはなかったのでルベールの皆さんは接写・遠写様々に何枚も撮っていました。管理されているのがどんな団体か分かりませんがお世話様・ありがとうございます。

最終バスの時間があるので花を楽しむのもそこそこに広場を出発。15 分ほどでリョウブの丘に到着。ここでも京都・滋賀の山々が良く見えるがサッと見て、更に 20 分ほどでポンポン山（678.8m）に到着。山食パーティーのグループ他多くの人が出て賑わっていた。山々に加え眼下の街並みも綺麗だったが時

間がないので記念撮影をして早々にここを離れ次の釈迦岳（631.4m）へ向かう。途中カタクリの群生地を通ったが柵は閉じられ中を窺うことはできなかった。5月には見頃の筈なのでまた来てみたい。

釈迦岳には25分程で到着し少し休憩したあと、杉・檜の植林の中を下る。結構急な道が続き、倒木を跨いだり道も濡れているので滑らないように注意が必要で疲れる。バスの時間を気にしながら40分程ちょっと急ぎ気味で歩いてほぼ予定通りの時間に善峯寺に到着。門前を通り過ぎ、今は運行していないバス停でトイレ休憩し一息ついた後、車道をのんびり歩き半時間で小塩バス停に到着。バスはすでに来ていたので全員座れて（そのあと続々とハイカーが乗ってきて出発時には満席になりました）、今日も一日お疲れ様でした～！ 終日快晴、風もないハイキング日和で自然を満喫できました。

阪急東向日とJR向日でそれぞれにバスを降りましたが東向日ではいつもの反省会があったようです。